白神の自然と人と 八峰町総合振興計画を策定しました **C** 創 る F すら、き のま ち

平成19年度~平成28年度

めてきました。 表によって組織した審議会などで広く皆さんの意見や提言をいただきながら策定作業を進 これまで住民意向調査として全世帯にお願いしました「住民アンケート」の実施や住民代新しく誕生した八峰町のまちづくりの指針として、八峰町総合振興計画を策定しました。 ト」の実施や住民代

3月定例議会で計画内容が議決されました。 今月号では策定された計画の概要をお知ら

総合振興計 画とは

治法によって策定が義務づけ計画です。この計画は地方自 を総合的、 のように取り組んでいくのか にするのか、 必要になります。 の流れなどを見極めながら、 町の特性や今後の課題、 となります。 の最も基本となる指針であ の最上位計画として町政運営 「総合振興計画」 町民と行政の共通の目標 八峰町をどのような町 おり、 体系的にまとめた そのためにはど 町議会の議決が 言い換えると、 とは、 時代 町

度から平成28年度の10年間。 その目的を達成するため、 基本構想の期間は平成19年

> に実施していくかを明らかに 画の中で具体化し、どのよう に定められた施策を行財政計 しています。 期5か年と後期5か年に区分 の実効性を確保するため、 景に対応するとともに、 ング方式で実施します。 した実施計画は3か年計画と 毎年見直しを行うローリ また、 流動的な時代背 基本計

> > 青く広大

と八峰町の将来像

シップによるまちづくりを進 行くには、 新しいまちづくり それぞれが互いの特性 町民と行政や町民 -ションを を進めて 町民参

施策 で、町民が互いに尊重めることが重要です。 します。 画の根底に流れる基本理念と て誇りと自信に満ちたまちを この理念のもと、 町民が互いに尊重し合 育んでいくことを本計 地域の資源を活かし

その

めるような活力あるまちをめし、住む人々が将来に夢を育英知により文化・産業を創造 次のように定めました。ざすため、八峰町の将来像をめるような活力あるまちをめ を享受しながら、 かなまちで、 神山地"に囲まれた自然の な日本海と世界自然遺産 潤いとやすらぎ 住む人々 0 豊白

白神の自然と人とで創る やすらぎのまち~

まちづくりの基本理念

画の環境を整え、 を理解するとともに、 相互のコミュニケー



人々が共に支えあい、高齢者ランティア活動などを通じてりを進めるとともに、地域ボ 民が安心して暮らせるまちづや障害者、子供など全ての町 係機関と連携し、 くり・自殺予防対策に取り組 りを推進します。 心の健康づ また、関 ィ形成の重要性は増していま高齢者対策の面でコミュニテ 一方、防災・防犯や子育て、

目標達成に向けて着実にまち

や住民、関係団体等が連携し、

づくりを進めていきます。

豊かな自然と共生するまちづ

みます。

基本目標を定めました。

た。 行 政

将来像実現のため、

7つの基本目標

業のまちづくり 自然と人とが創る活力ある産

海など恵まれた自然環境を保

未来に継承するととも

に接する町として、

森・川・

世界自然遺産

「白神山地

地域イメージを活用し、 神山地。と "日本海" のまちづくりを推進します の発信に努め、 ブランド品の確立や地域情報 への支援を進めるほか、 業の振興、地場産業や新産業 水産業の振興に加え、 本町の基幹産業である農林 活力ある産業 という 観光産 地域 " 白

彩り豊かな文化と人づくり

等の整備、

情報社会に対応し

た高速通信網の整備

自然環

境と調和

した住環境の整備等 各世代が快適に生

まちづくり

交通体系の整備、

上下水道

快適で安全な暮らしを支える

との多様な交流を図ります。

リズムを促進し、都市部

に、(エコ・グリ

を創造していくため、 がれた自然、文化、 に重点を置いたまちづく 先人よりこの地域に受け継 新しいふるさとや文化に自然、文化、伝統を継

活できるまちづくりを進めま

ふれあいと連帯を広げる地域

ちづくり

笑顔がこぼれるやすらぎのま

づくり 近年の混住化や人々の価値

りにあった健康管理体制づく

機関が連携し、

町民一人ひと

保健・医療・福祉等の関係

が進みつつあり、地域の活力の愛着心や人間関係の希薄化観の多様化とともに、地域へ 低下が懸念されています。

町民一人ひとりが自分のま

流を積極的に支援します。 ぎを享受するまちづくりを自 ちとして意識を持ち、やすら ら行えるよう、 町民相互の交

構想推進のために

決のために地域が果たす役割 会環境の変化の中で、 どまらず、 が近年改めて重視されていま へと広がっており、 人々の関心は個人の生活にと 価値観の多様化に伴い 地域やまちづくり また、 問題解

もに、町民によるさまざまな 町民参画の環境を整えるとと 活動を支援・活性化し、 によるまちづくりを進めます。 町政運営全般にわたって、 協働

皆川薬局



どちらの処方せんでもお受けします。

八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052 · FAX.76-2199

営業時間 7:00~20:00/休業日 日曜日・祝祭日

八峰町障害福祉法指定店 各眼科処方箋取扱店 補聴器・メガネ・時計・宝石・はんこ・ゴム印

吉田時計メガネ店

八峰町八森字中浜15-2 電話:77-2034 ご自宅までお伺いします。お気軽にどうぞ

医療機器販売管理者 吉田 皆川鉄治·皆川真実

9 広報はっぽう 2007.4月号